

第 7 回全国高校生介護技術コンテスト 課題 A (事前課題)

^{うおぬま}魚沼トキ子さん (83 歳女性) は、変形性膝関節症のため、立ち上がりや歩行の際に膝関節痛があります。また、加齢による筋力の衰えから、立ち上がり時にふらつきがみられるため、立位には支えが必要です。歩行は歩行器を使用すれば可能ですが、長距離になると疲れや膝の痛みから、休憩が必要です。季節は秋。魚沼さんは、昼寝から起床し、ベッド脇に靴を履いて端座位で座っています。午後からの誕生日会に参加するため、「今着ている上着 (かぶり) を着替え、身だしなみも整えたい。」と介護者を呼んでいます。

更衣後に、居室内の洗面台まで歩行器での移動を介助し、洗面台の椅子への着座を介助してください。また、整容については、髪の毛の乱れと化粧の直しができるように道具 (くし、手鏡、化粧ポーチ) の準備までを支援してください。なお、道具は床頭台の中にあります。

※利用者役の返事は、うなずく、首を振る、指をさすのみです。

※利用者役が服の下に着ている黒色の T シャツを肌とします。

健康状態 心身機能 身体状況	変形性膝関節症による両膝関節の運動痛あり。視覚・聴覚は 83 歳の平均的な状態。眼鏡や補聴器の使用なし。3 年前に転倒し、左大腿骨頸部を骨折。入院中に体力・筋力が落ち、退院時には車いすを利用する状態となったが、現在は歩行器を使用するまでに回復している。転倒した際、左上肢を床に着いたことで肩を痛め、左肩関節の可動域は外転 90 度程度で、腕を肩の高さより上にあげると痛みを伴う。
活動	立位：ふらつきあり。支えが必要。食 事：自立。 移動：歩行器を使用。排 泄：移乗に一部介助が必要。 一部介助が必要。利き手：右利き。 更衣：一部介助が必要。整 容：自立。
個人因子	83 歳女性。几帳面できれい好き。穏やかで社交的な性格。昔はデパートに勤務し、洋服の販売員をしていた。今もおしゃれに関心が強く、普段から身だしなみに気を配っている。自分のことは自分でしたいという思いが強い。
環境因子	退院後、介護老人保健施設でリハビリを行い、歩行器を使用するまでに回復。1 年前に現在の介護老人福祉施設に入所。夫とは 5 年前に死別し、自宅は現在空き家の状態。同じ市内に長男夫婦と長女夫婦が住んでおり、それぞれ月に 2 回程度面会に来る。
使用可能な物品 ※すべてを使用する必要はない。	ベッド (Q-AURA KQ-63310 3 モーター 91cm 幅 キャスター付) マットレス (ストレッチスリム KE-771TQ 91cm 幅) 介助バー (シングルアーム介助バー KS-098A) ベッドサイドレール (KS-161Q) 歩行器 (アルコー SK 型) 床頭台 (くし、手鏡、化粧ポーチが入っている。) 衣装棚 (上着 2 枚、バスタオル 2 枚、フェイスタオル 2 枚が入っている。) 洗面台 (実物に鏡は無いが、正面に鏡が付いているものとする。) シーツ/枕/タオルケット/洗濯かご/椅子